

第2回 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

日時 令和7年8月25日(月)
午後6時から

場所 勝浦町地域活性化センター

次 第

1. 開会
2. 委員長・副委員長あいさつ
3. 議事
道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備の機能・ゾーニング・主要施設の
検討について
4. 閉会

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

【第2回】プログラム

- 日程：令和7年8月25日（月）18:00～20:45
- 会場：勝浦町地域活性化センター・レヴィタかつうら
- 意見交換のテーマ：論点2（機能、ゾーニング、主要施設）の検討



委員会 URL

■プログラム

コーディネータ：高尾美由姫（徳島大学人と地域共創センター協力員）

時間 (目安)	項目	進行
17:40	※受付（3つのテーブルに誘導）	
18:00 (5分)	1. 開会 ・挨拶（勝浦町、委員長、副委員長）	勝浦町
18:05 (35分)	2 情報の共有 ①委員会の運営とルール（案）の追記（委員長）3分 ②第1回委員会の記録（スバル設計）3分 ③主要施設について（勝浦町）3分 ④公園ゾーニング図・3案（スバル設計）6分 ⑤本計画における防災機能について（上月副委員長）10分 ⑥勝浦町における「恐竜」資産の活用の取組（小布施委員）10分	コーディネータ
18:40 (5分)	3 検討（旗立てマップ方式、3テーブル） 3-0 進行説明 ・ゾーニング図の説明 ・意見カード（青：賛成、赤：懸念、黄色：意見）	委員長 副委員長 コーディネータ
18:45 (30分)	3-1 検討（意見カードの記入 ・意見交換） 1) 検討1 ・進め方、ゾーニング図の説明、申カード記入 5分 ・意見交換 25分	
19:15	休憩	
19:25 (30分)	2) 検討2	
19:55 (30分)	3) 検討3	
20:25 (15分)	3-2 検討結果の共有 ・3テーブル発表 副委員長、委員長 ・委員長等コメント 副委員長、委員長	
20:40 (5分) 20:45	5 チェック・アウト ・次回の開催ほか ・挨拶（勝浦町） ・閉会	勝浦町

委員会事務局

勝浦町役場総務防災課 電話 0885-42-2511 中田 敦士
〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 3

第2回 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

○配布資料リスト (A4 サイズ)

名称	備考 (説明者)
00 委員会次第 (第2回)	
01 委員会プログラム (第2回)	コーディネータ
02 資料リスト (第2回)	コーディネータ
03 委員会名簿	
04 委員会の運営とルール (案)・改訂	委員長
05 公園整備計画の概要 (目的・範囲・スケジュール・プロセス)	勝浦町
06 委員会の記録 (第1回)	スバル設計
07-1 公園素案・3案 (ゾーニング・機能配置・主要施設)	スバル設計
07-2 ゾーン・機能・主要施設の比較表・3案	スバル設計
08-1 計画地周辺のハザードマップ (土砂災害)	
08-2 計画地周辺のハザードマップ (洪水浸水想定区域)	
08-3 本計画における防災機能について	徳島大学・上月康則
09 勝浦町における「恐竜」資産の保全の取組	勝浦町地域おこし協力隊 小布施莉

○テーブル資料リスト (A1 サイズ)

名称	備考 (説明者)
T1 勝浦町ハザードマップ	A1 サイズ、3枚
T2 公園素案 A案	A1 サイズ、3枚
T3 公園素案 B案	A1 サイズ、3枚
T4 公園素案 C案	A1 サイズ、3枚
T4 ゾーン・機能・主要施設の比較表	A1 サイズ、1枚

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会委員名簿

【委員】

所属等	氏名	備考
徳島大学大学院教授 徳島大学環境防災研究センター 副センター長	上月 康則	C案テーブル
徳島大学人と地域共創センター 客員教授	澤田 俊明	A案テーブル
徳島県立博物館学芸員	辻野 泰之	G1
NPO法人阿波勝浦井戸端塾塾長	国清 一治	B案テーブル
NPO法人K-F r i e n d s 理事長	秋成 ふみよ	G2
(一社) 勝浦町地域活性化協会事務局長	新居 正志	G3
生名ロマンの会会長	戸川 幹雄	G1
道の駅「ひなの里かつうら」 駅長	渡邊 祐介	G2
勝浦町区長会会長	倉坪 泰幸	G3
勝浦町スポーツ推進委員会会長	内谷 安宏	G1
勝浦町地域おこし協力隊	小布施 莉奈	G2
勝浦町自主防災連絡協議会会長	阿部 恵	G3
子育て世代代表	河野 千夏	G1
子育て世代代表	高田 薫	G2
勝浦町議会議員 (地元議員)	花房 勝一	G3
勝浦町副町長	海川 好史	G1

【コーディネーター】

徳島大学人と地域共創センター 協力員	高尾 美由姫	B案テーブル
【勝浦町】 町長	野上 武典	
政策監	野上 佳孝	
総務防災課長	中瀬 弘晴	
総務防災課	中田 敦士	
【委託業者】 (株)スバル設計 代表取締役	藤川 健太郎	
(株)スバル設計	臼杵 正博	A案テーブル
(株)スバル設計	緒方 里衣子	C案テーブル

委員会の運営とルール（案） 下線部追記 2025 年 8 月 25 日

●委員の皆様へのお願い（2つ）

1. 積極的に、自分の意見を述べよう
2. 積極的に、他の参加者の意見を聞こう

●委員会のルール（3つ）

3. 【意見】意見の存在は認める = 否定はしない
(背景) 多様な見方、多様な環境：意見の違い → 正常な状態
4. 【記録】委員会の開催状況をテキスト、及び、写真により記録します。
5. 【情報の公開】委員会の配布情報、記録情報は、委員長・副委員長の確認・承諾後、公開します。また、公開情報に限り委員の利用を可とします。
6. 【傍聴】委員会は、公開可とし傍聴者を認めます。このとき、傍聴者は発言できません。傍聴者は、上記4. 5. の記録情報の対象となります。

●委員会の運営

7. 限られた時間で、効率的な意見交換（対話）を実現するため、社会技術としてのワークショップ手法等を導入します。

（参考）合意形成とは

多様な価値の存在を認めながら、人々の立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、お互いに納得できる解決策を見いだしていくプロセスのこと

※合意形成マネジメント協会（代表：哲学者・桑子敏雄氏）

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整の概要

1. 諮問：道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会宛て

表 1 勝浦町から委員会への諮問（R7年7月9日）

<p>道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画について（諮問） 次の事項について貴委員会の意見を求めます。</p> <p>1. 諮問事項 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画の策定について</p> <p>2. 諮問理由 平成23年の開設から14年が経過した道の駅「ひなの里かつうら」について現在の状況や将来的な見通し等を踏まえた上で、その周辺に新たに公園を整備するにあたり基本計画を策定する必要があることから、貴委員会に意見を求めるものであります。</p>

2. 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・範囲・スケジュール

表 2 目的・範囲・検討内容等（第1回委員会資料より）

<p>(1) 策定の目的 近年の大規模地震や台風、異常気象に伴う大雨など自然災害の発生時において、町民の避難場所をはじめ、救援物資の受け入れや復旧活動等に資する防災の拠点、また、平常時はイベント時の駐車場不足の解消を図った上で子ども達が遊べる場を提供し、新たなにぎわいの創出や地域住民の利便性の向上を図る拠点となる公園の早急な整備が求められています。 このような多面的な機能をもつ公園を整備するための計画を策定する。</p> <p>(2) 範囲 道の駅・よってね市周辺の範囲（範囲図省略）</p> <p>(3) 整備計画のおもな検討内容 ①検討条件の設定：検討課題の抽出・確認 ②公園機能の検討：防災機能を含めた検討、ゾーニング等 ③概算事業費の検討：概算事業費の算定</p> <p>(4) 方針（現段階の骨子案） ①防災機能を持つ地域拠点の整備 ②幅広い世代、地域資源活用、子どもから大人まで世代を超えた利用機能の実現 ③交流拠点機能、情報発信機能の強化 ④駐車場機能の拡充</p> <p>(5) 今後の予定（今後の進捗状況によっては変更が生じます） 令和7年度 ○基本整備計画の策定 委員会予定：第1回（7/9）、第2回（8/25）、第3回（9月下旬）、第4回（11月上旬） 令和8年度から令和10年度 ○基本設計（諸施設の検討及び決定、概算事業費算出等） ○用地取得 ○実施設計 ○整備工事 令和10年度内の開園を目指す</p>

3. 論点

表 3 公園基本整備計画上の主な論点

- 論点1 目的・方針
 - ・公園計画の目的・範囲、機能イメージ
 - ・計画予定地の特徴、関係者のニーズ
 - ・方針（機能、利用・参加協働、維持管理）
- 論点2 計画
 - ・公園の機能（＝利用、活動）、ゾーニング、主要施設配置
 - ・高さ（防災機能面等からの公園の高さ）
- 論点3 利用・参加協働
- 論点4 維持管理

4. 委員会の流れ（R7年度）

7月9日

【第1回】

- ・公園計画の目的・範囲の確認
- ・公園計画の機能・主要施設・想定すべき利用者の検討

論点1

8月25日

【第2回】

- ・公園計画素案（3案）の検討
- ・ゾーニング・機能配置・主要施設の比較表の検討

論点2

3案→1案に絞り込み

9月下旬

【第3回】

- ・公園基本整備計画（素案）の検討・修正意見
- ・公園の利用・参加協働、維持管理の検討

論点1～2

論点3～4

11月上旬

【第4回】

- 公園基本整備計画（案）の提示・修正意見
- 公園の利用・参加協働（案）、維持管理（案）の提示・修正意見

論点1～2

論点3～4

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画 第1回策定委員会（意見交換会）

(資料 06)

関係団体など様々な方から道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園のあり方等についてヒアリング、意見交換会を行いました！

実施時間	令和7年7月9日 19:00～21:00
対象	徳島大学大学院教授、徳島大学客員教授、徳島県立博物館学芸員、NPO法人阿波勝浦井戸端塾塾長、NPO法人K-Friends理事長 (一社)勝浦町地域活性化協会事務局長、生名ロマンの会会長、道の駅「ひなの里かつうら」駅長、勝浦町区長 勝浦町スポーツ推進委員会会長、子育て世代代表、勝浦町議会議員、勝浦町副町長
方法	意見交換会
主な内容	①委員会のプロセス、ルール ②道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・範囲・スケジュール ③公園計画のゾーニングの例 ④公園計画の流れと視点 ⑤地域と防災 ⑥公園に必要な機能、主要施設、想定すべき利用者、懸念
実施回数	令和7年7月9日(水) 第1回(約22名) 令和7年8月下旬予定 第2回 令和7年9月下旬予定 第3回

表1 道の駅「ひなの里かつうら」第1回話し合い 模造紙意見整理

カードの凡例：【ピンク】項目、【黄】区分、【緑】区画、【黄】区分、【緑】参加者の意見
 文字色凡例：【黒】参加者の記述、【茶】参加者の発言

主な意見キーワード 駐車場、恐竜、みかん、地域資源、遊べる機能、散策機能、防災、ウォーキング・ランニング、要素、連携、水辺、トイレ、学ぶ機能、wi-fi、体験機能、飲食、複合機能、屋根付機能、植樹、ポイント、楽しい空間、ほか

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	口頭意見のカード記録 ※録音補足
(1) 質問	—	この地域は液状化はないのか？		・ 覚悟必要
		3月の会議で出された多くの意見の扱いは？		・ 前回と今回の意見を次回に反映
		現在の道の駅の基礎データは？		・ 次回か事前に提出
		・ 利用者数？ ・ 利用者からの要望など		・ 2000人/1カ月、産直はその倍
(2) 必要な機能	駐車場	駐車場の確保		—
		駐車場		—
		大型車が進入出来るように		—
		RVパーク		—
		自転車の空気入れ		—
				—
(3) 主要施設	恐竜	恐竜やみかんのPR		なぜ勝浦で恐竜なのか？
		恐竜に関するもの		展示出来る場所
		恐竜コミュニティ展示施設		—
		恐竜化石発掘体験にも使える場所(上屋)		もっとしっかりした施設が欲しい
		—		—
		みかん		—

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	・口頭意見のカード記録 ※録音補足
(3) 主要施設	地域資源	何を作るにせよ、恐竜、みかん、ひな祭り 桜のモチーフを		-
		ひなまつり、桜、道の駅、よってねと連携		-
	遊べる機能	公園に必要な機能、あそべること		子供もお年寄りも楽しめる 遊んで学ぶ
		子供の遊べる遊具		-
		子供が遊べる場所、シニアが散歩できる場所		昼：子供 タ：お年寄り
	散策機能	-		-
	防災	防災避難出来る場所(災害時)		-
		防災機能つくる、子供(0歳~高校生) までが集まれる所		子供が集まれる場所 普段使い出来る
		防災施設		遊びながら防災を学べる
		コンセント、水道、手押しポンプ		-
ウォーキング ランニング	ウォーキング、ランニングが出来るコース 夜間も出来るように照明も		夜も安全に歩ける バスケットなど	

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	・口頭意見のカード記録 ※録音補足
(3) 主要施設	要素	温泉、桜の木 温泉、入浴施設 噴水公園 (観光・交流) 淡水魚施設		- - 噴水公園 高低差を利用 - 1年中利用できる 散策と水遊び - - - 広いエリアで仕様可能に -
	連携	桜祭りの舟下りを1年中で利用運営いただければ		
	水辺	公園内に水辺		
	トイレ	トイレは道の駅にもあるので小さめでよい		
	学ぶ機能	教育機能、地域資源を学べる場所		
	wi-fi	wi-fi 整備		
	体験機能	公園で遊べる体験施設 (みかん収穫体験・ウォーキング等)		

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	・口頭意見のカード記録 ※録音補足	
(3) 主要施設	飲食	<p>飲食できる施設</p> <p>体験活動ができる施設(あずま屋?)</p>		<p>・道の駅で買って食べられる</p> <p>・多目的活動施設</p>	
	複合機能 屋根付機能	<p>管理棟(防災倉庫)</p> <p>日常利用もできる、防災、雨つゆがしのげる屋根施設</p>		-	
	植樹	<p>桜の植栽(ソメイヨシノと異なる品種) その内1本はエリアの中心にシンボルとなるような桜を植える</p>		-	
	ポイント	<p>あまり作り込まずシンプルに</p>		-	
	楽しい空間	-		-	
	(4) 想定すべき利用者	-	<p>町民(平日) 早朝・夕方 シニア (平日) 昼間 未就学児・低学年 土・日・祝日 観光客・買物客</p> <p>マルシェが開ける様に</p> <p>町外、国外(インバウンド)</p> <p>小さい子供から高齢者(誰でもが)</p> <p>車中泊をする人</p>		<p>・平日：町民 休日：外の人</p> <p>・年間通じたインバウンド</p>
					-
					-
					-
					-

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	口頭意見のカード記録 ※録音補足
(4) 想定すべき利用者	-	カード(参加者の記述) →町外、県外の観光客 →住民(高齢者・子供) →障害者・外国人 利用者、若い人達 子供・家族		<ul style="list-style-type: none"> 誰でも使いやすい(インクルーシブ) 家の中だけでなくも遊べる機能
(5) 懸念	-	内容を詰め込み過ぎると中途半端になるのではないか? 洪水時に使えない場所で防災機能は難しいのでは? 防災の視点でこの場所でもいいのか? 用地関係者への説明は? 洪水対策 各団体の連携、各関係者への説明 災害に弱い場所 そもそも住民が避難できる場所か? 避難場所として安全か? 水害対策について 暑い日も日陰で休める場所・見守ってくれる人は? 施設、公園全ての維持と管理はどことが請け負うのか?		<ul style="list-style-type: none"> 災害の種類で考える 広域避難場所視点 いつ行うべきか? 早いほうがいい(澤田) 費用大 住宅地より低い位置 水の逆流 水の流れを変える方法は? 若者への負債は?

項目	区分	カード(参加者の記述)	発言	口頭意見のカード記録 ※録音補足
(5) 懸念	-	浸水などにごどう対処するのか? 洪水による浸水、土砂災害		<ul style="list-style-type: none"> ・何の防災をメインにするのか? ・皆が集まれる拠点に

表1 道の駅「ひなの里かつうら」第1回話し合い 模造紙意見整理（必要建屋・工作物等）



第1回
ニュースター

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園整備
検討委員会

令和7年
7月9日(水)
19:00~20:30
会場:レヴィタかつら



主催:勝浦町総務防災課 受託者:株式会社スバル設計

[参加者 22名]

公園整備計画の目的

町のシンボル「ひなの里かつら」を中心に、町民も観光客も楽しめる“にぎわいの拠点”をつくることを目指しています。



■ 地域資源の活用

恐竜・みかん・ひな祭り・桜といった勝浦ならではの魅力を公園に反映。

■ 日常利用と観光の両立

町民が日常的に散歩や交流に使い、休日は観光を迎え入れる場に。

■ 防災機能の強化

災害時の避難場所・防災拠点としても利用できる安全な公園を整備。

公園計画における主な目的と方針について検討し、主要な機能や施設についての意見交換を行いました。

策定委員会の概要【4回開催】 ①7月9日 ②8月25日 ③9月30日 ④11月上旬

主な意見

テーマ	内容	参加者の声
駐車場	大型車対応、RVパーク、自転車	「大型車が入れるように」 「キャンピングカーでも来られるようにしたい」 「自転車の空気入れがあると便利」
地域資源の活用	恐竜、みかん、ひな祭りなどの地域資源PR 体験施設、桜の多品種植栽	「勝浦らしさをもっと全面に出したい」 「恐竜をテーマにした体験施設があると面白い」 「桜をシンボルに」
防災・安全対策	洪水時の避難場所、防災倉庫、屋根付き施設、コンセント、水道設置	「災害時に使える設備が必要」 「手押しポンプなど電気がなくても使えるものがあると安心」 「水害対策を」
利用者ニーズ	子ども向け遊具、高齢者の散歩道、若者向け体験、インクルーシブ設計	「子どもが安全に遊べる場所が欲しい」 「遊びながら学べる」 「高齢者も気軽に来られるようにしたい」
飲食・交流	飲食スペース、マルシェ広場、多目的活動施設	「道の駅で買ったものをその場で食べられると便利」 「イベントができる広場があると地域が盛り上がる」



■ カードの凡例: [ピンク]項目、[黄色]区分、[緑]参加者の意見 ■ 文字色凡例: [黒]参加者の記述、[茶]参加者の発言

今後の展望と課題

✅ 想定される機能	⚠️ 懸念点	📊 図表案
<ul style="list-style-type: none"> ・散策、ウォーキングコース ・噴水、水辺空間 ・Wi-Fi 整備 ・飲食、体験施設 (あずま屋など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時の安全性 ・内容の詰め込みすぎによる中途半端さ ・維持管理の責任所在 ・暑さ対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン別機能配置図 (公園ゾーン、広場ゾーンなど) ・利用者層マップ (平日・休日・観光客など)

この整備計画は「町民の日常の場」と「観光・交流の拠点」を兼ね備えた新しい公園づくりです。

今後も話し合いを重ねながら、町民の方々とともに形にしていきます。

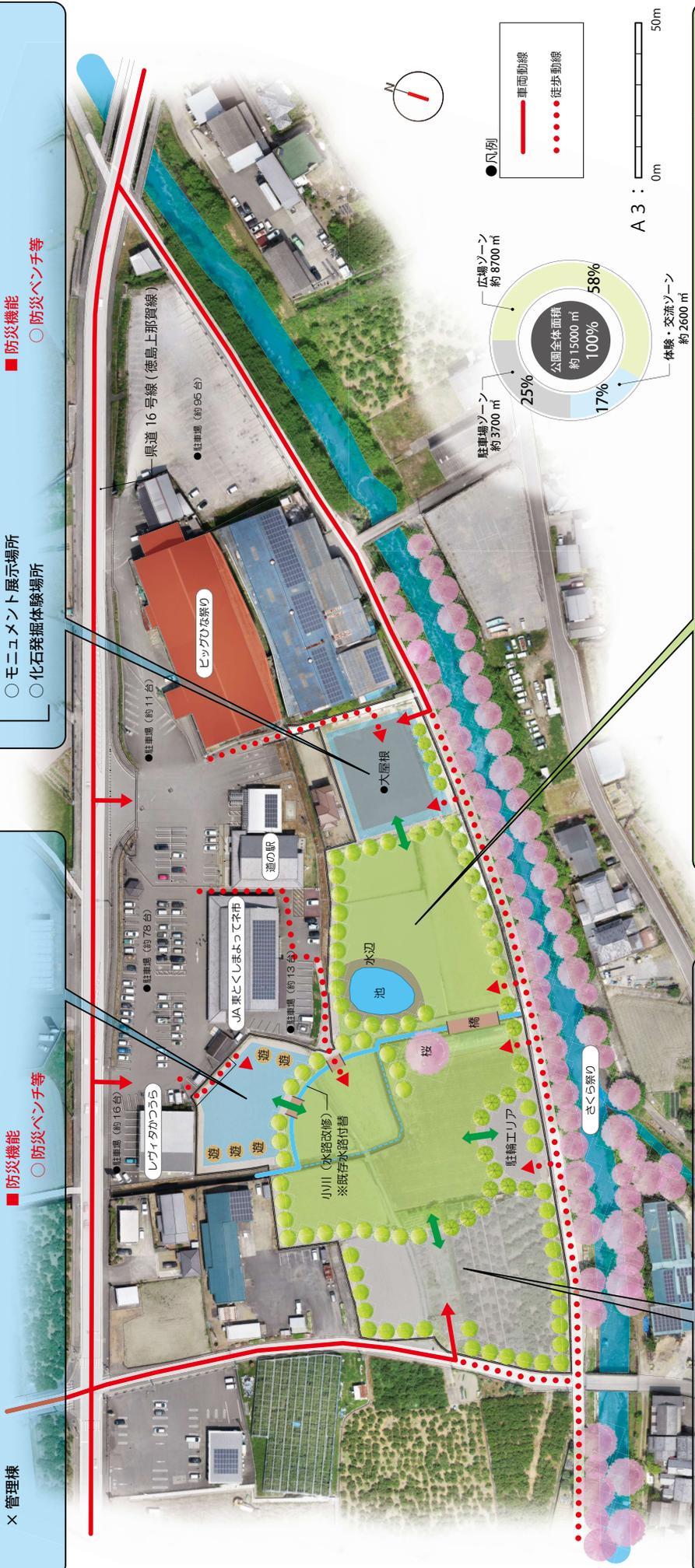
お問い合わせ先: 勝浦町総務防災課 電話 0885-42-2511

②体験・交流ゾーン-1

- 儲ける機能
 - × 民間カフェ等
- 管理機能
 - × 管理棟
- 交流レクリエーション機能
 - × BBQ棟
 - × マルシェ開催場所、コンセント設置
 - 遊具 (小型遊具)
- 防災機能
 - 防災ベンチ等

②体験・交流ゾーン-2

- 地域学習機能
 - 恐竜学習
 - PR 場所
 - モニュメント 展示場所
 - 化石発掘体験場所
- 雨避け・日除け機能
 - 大屋根施設、コンセントあり (大屋根)
 - コンセント
- 防災機能
 - 防災ベンチ等



③駐車場ゾーン

- 駐車機能
 - 駐車場 (普通車) 約 60 台
 - 駐車場 (大型車) 約 5 台
- 駐輪機能
 - 駐輪場 約 40 台
- 管理機能
 - × トイレ

①広場ゾーン

- 広場機能
 - 芝生広場
 - × 土系広場
- 地域学習機能
 - × みかん畑・収穫体験機能
- 緑地機能
 - シンボルツリー (桜)
 - 植樹
 - スポーツレクリエーション機能
 - × ウォーキング・ランニングコース
 - 園路
- 親水水辺機能
 - 小川、せせらぎ (水路改修)
 - 小さな池
 - 防災機能
 - 防災ベンチ等

③ 駐車場ゾーン

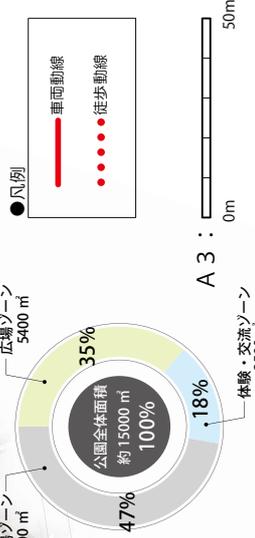
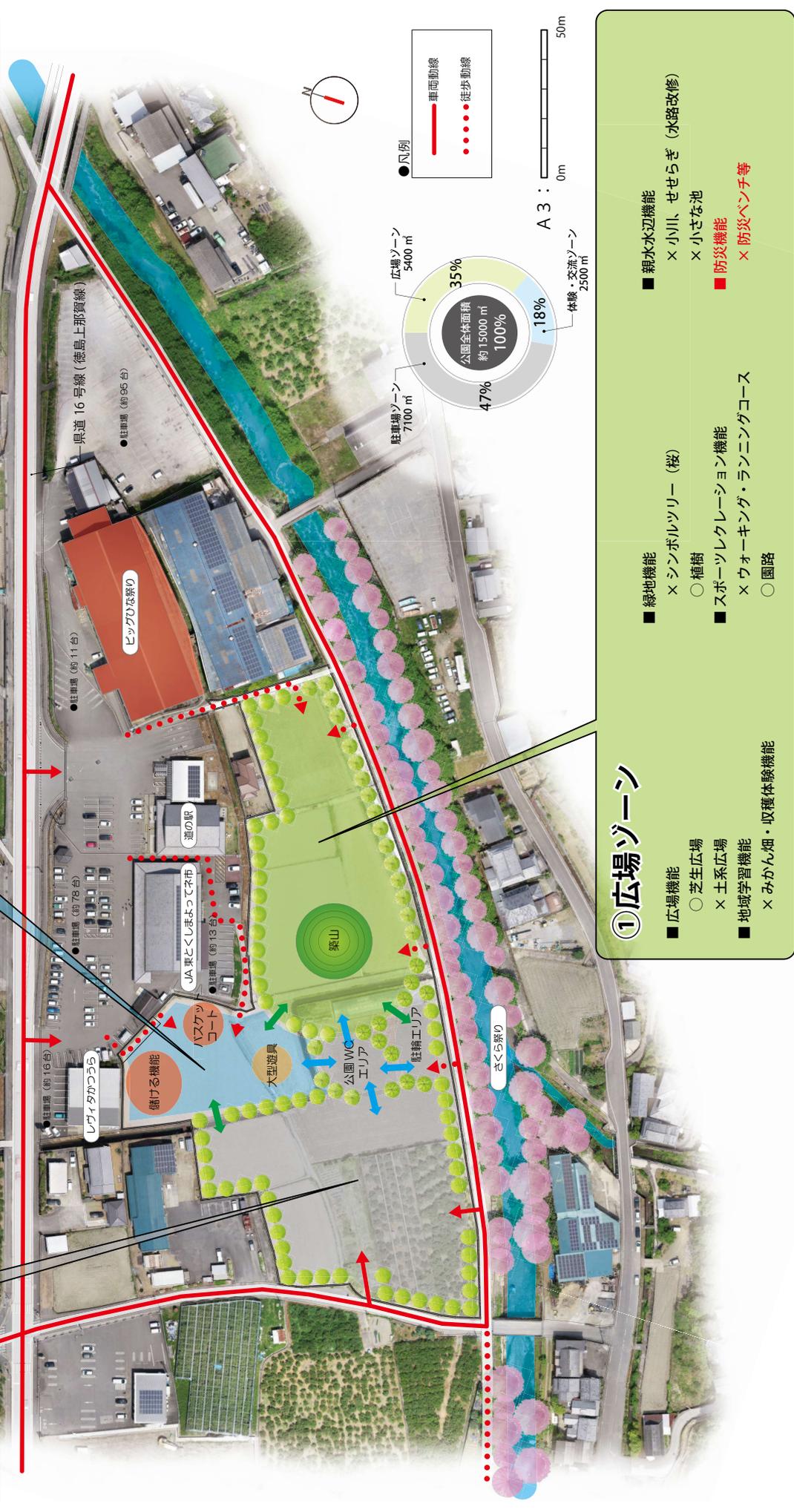
- 駐車機能
 - 駐車場 (普通車) 約 80 台
 - 駐車場 (大型車) 約 10 台
- 駐輪機能
 - 駐輪場 約 30 台
- 管理機能
 - トイレ

② 体験・交流ゾーン

- 地域学習機能
 - × 恐竜学習
 - × PR 場所
 - × モニメント展示場所
 - × 化石発掘体験場所
- 雨避け・日除け機能
 - × 大屋根施設、コンセントあり
 - × コンセント
- 備ける機能
 - 民間カフェ等
 - 管理機能
 - × 管理棟
- 交流レクリエーション機能
 - × BBQ 棟
 - × マルシェ開催場所、コンセント設置
 - 遊具 (大型遊具)
 - バスケットコート
- 防災機能
 - × 防災ベンチ等

① 広場ゾーン

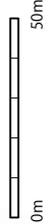
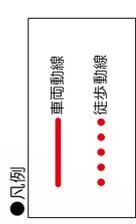
- 緑地機能
 - × シンボルツリー (桜)
 - 植樹
- スポーツレクリエーション機能
 - × ウォーキング・ランニングコース
 - 園路
- 親水水辺機能
 - × 小川、せせらぎ (水路改修)
 - × 小さな池
- 防災機能
 - × 防災ベンチ等



① 広場ゾーン

- 広場機能
 - 芝生広場
 - × 土系広場
- 地域学習機能
 - × みかん畑・収穫体験機能

- 緑地機能
 - × シンボルツリー (桜)
 - 植樹
- スポーツレクリエーション機能
 - × ウォーキング・ランニングコース
 - 園路
- 親水水辺機能
 - × 小川、せせらぎ (水路改修)
 - × 小さな池
- 防災機能
 - × 防災ベンチ等



ゾーン	機能	主要施設	防災機能	A案	B案	C案
①広場ゾーン	広場機能	芝生広場	※	○	×	○
		土系広場	※	×	○	×
	緑地機能	シンボルツリー	※	○(桜)	×	×
		植樹	※	○	○	○
	地域学習機能	みかん畑・収穫体験機能		×	○	×
		ウォーキング・ランニングコース		×	○	×
	親水水辺機能	園路		○	○	○
		小川、せせらぎ（水路改修）		○	○	×
		小さな池		○	×	×
	防災機能		※	○	○	×
②体験・交流ゾーン	地域学習機能	PR 場所		○	×	×
		恐竜学習		○	×	×
		化石発掘体験場所		○	×	×
	雨避け・日除け機能	大屋根、コンセントあり	※	大屋根 25m×32m 約 800㎡	あずま屋 5m×52m 約 260㎡	×
		コンセント	※	○	×	×
	儲ける機能	民間カフェ等※公園用地から除外		×	×	○
		BBQ 棟		×	15m×20m 約 300㎡	×
	交流レクリエーション機能	マルシェ開催場所、コンセント設置		×	○	×
		遊具		小型遊具	×	大型遊具
	管理機能	管理棟		×	5m×8m 約 40㎡	×
防災機能		※	○	○	×	
③駐車場ゾーン	駐車機能	駐車場（普通車）		約 60 台	約 45 台	約 80 台
		駐車場（大型車）		約 5 台	約 3 台	約 10 台
	駐輪機能		約 40 台	約 20 台	約 30 台	
	管理機能		×	×	○	
共通	防災機能		※	○	○	×

ゾーン・機能・主要施設の比較(素案)

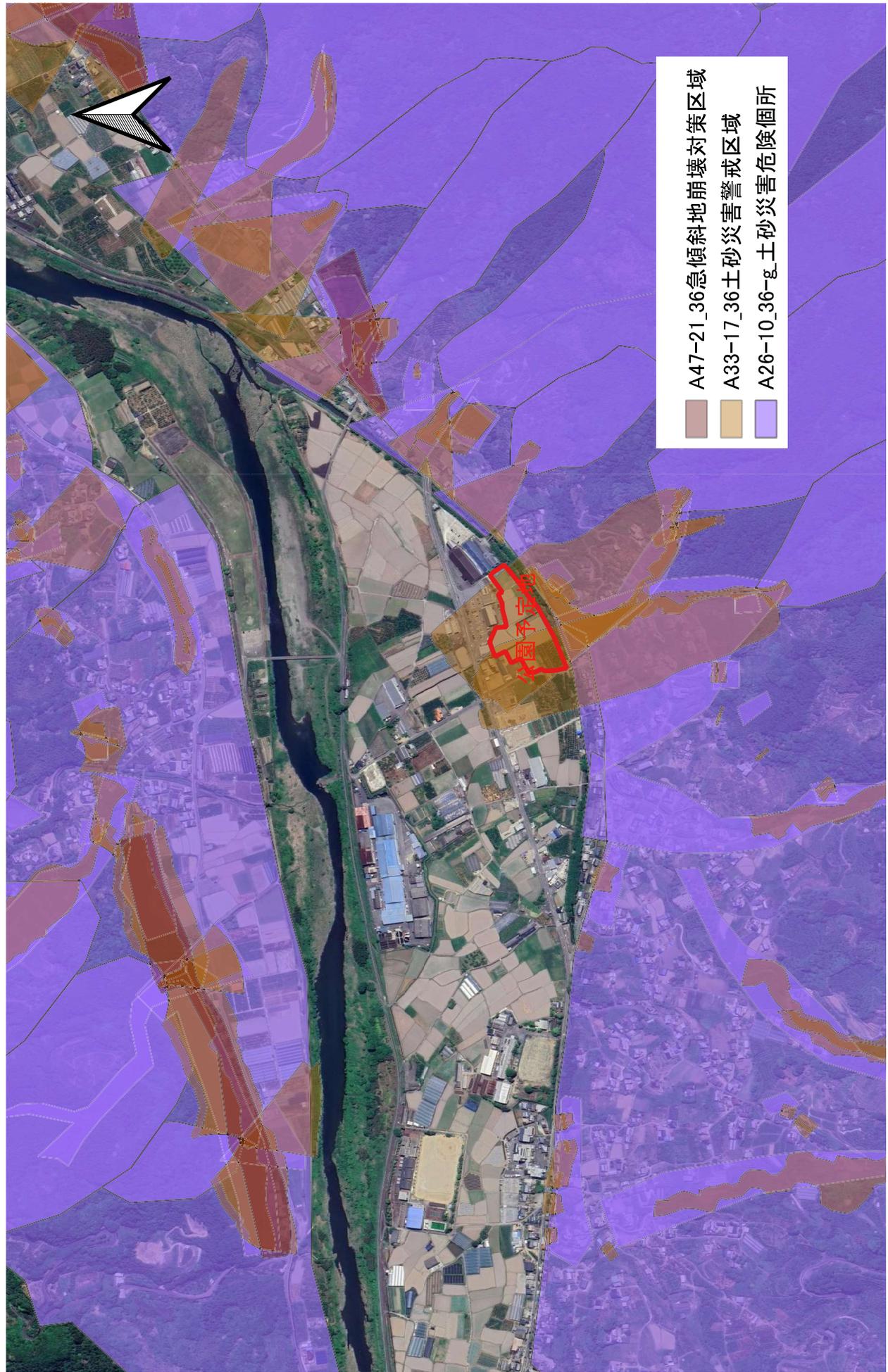
資料07-2

ゾーン	機能	主要施設	防災機能	A案	B案	C案
①広場ゾーン	広場機能	芝生広場	※	○	×	○
		土系広場	※	×	○	×
	緑地機能	シンボルツリー		○(桜)	×	×
		植樹		○	○	○
	地域学習機能	みかん畑・収穫体験機能		×	○	×
		ウォーキング・ランニングコース		×	○	×
	スポーツレクリエーション機能	園路		○	○	○
		小川、せせらぎ(水路改修)		○	×	×
	親水水辺機能	小さな池		○	×	×
		防災機能		※	○	○
②体験・交流ゾーン	地域学習機能	PR場所		○	×	×
		恐竜学習		○	×	×
		モニュメント展示場所		○	×	×
	雨避け・日除け機能	化石発掘体験場所		○	×	×
		大屋根施設、コンセントあり		大屋根 25m×32m,800m2	あずま屋 5m×52m,260m2	×
	儲ける機能	コンセント		○	×	×
		民間カフェ等※公園用地から除外		×	×	○
	交流レクリエーション機能	BBQ棟		×	15m×20m,300m2	×
		マルシ工開催場所、コンセント設置		×	○	×
		遊具		小型遊具	×	大型遊具
管理棟			×	5m×8m,40m2	×	
防災機能		※	○	○	×	
③駐車場ゾーン	駐車機能	駐車場(普通車)		約60台	約45台	約80台
		駐車場(大型車)		約5台	約3台	約10台
	駐輪機能	駐輪場		約40台	約20台	約30台
	管理機能	トイレ		×	×	○
共通	防災機能		※	○	○	×

公園計画地 ハザードマップ(土砂災害)

国土数値情報 徳島
急傾斜2023
土砂災害警戒区域2018
土砂災害危険箇所2018

(資料 08-1)

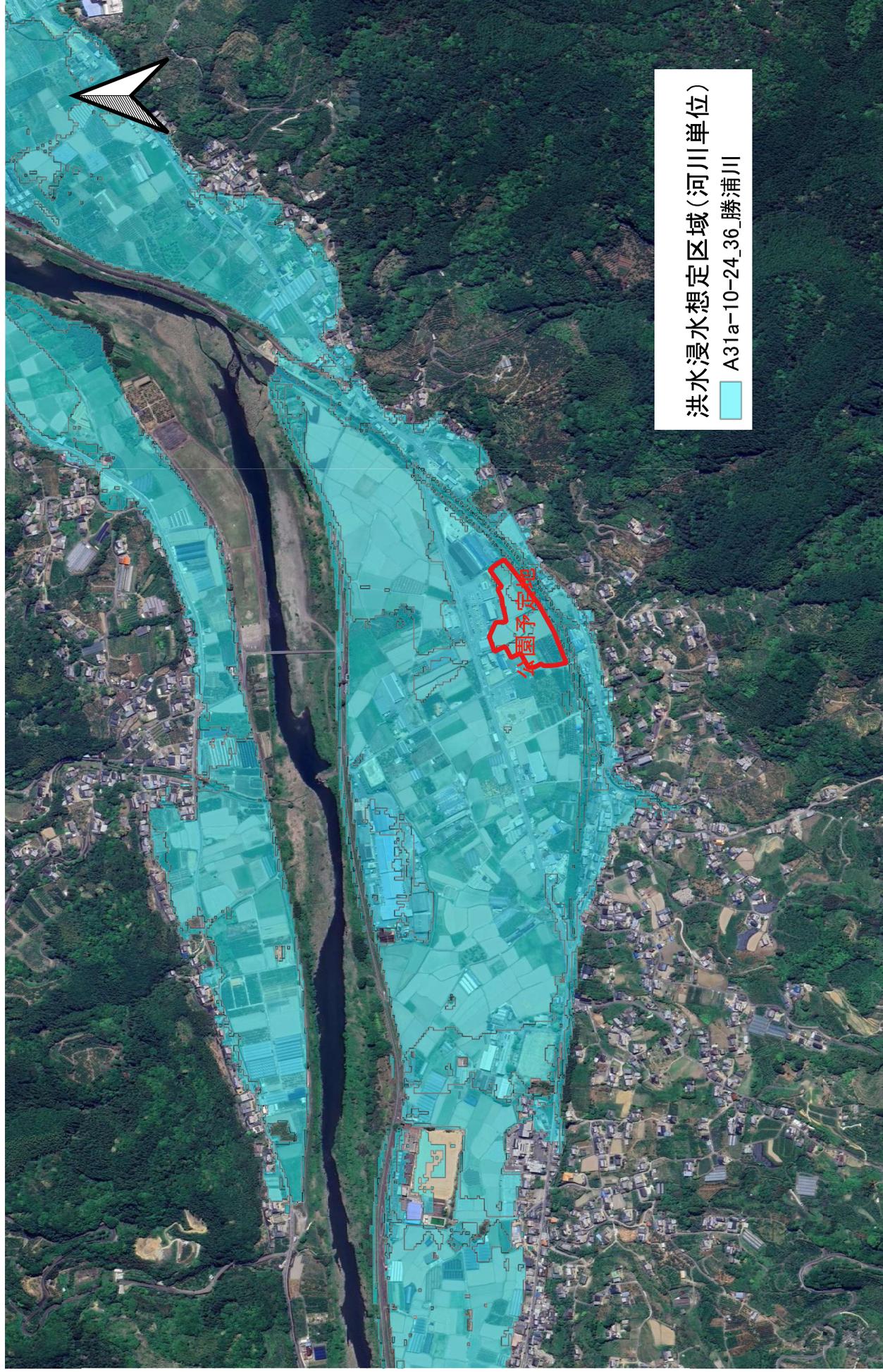


0 500 1,000 1,500 2,000 m

公園計画地 ハザードマップ(洪水浸水想定区域)

国土数値情報 徳島
洪水浸水想定区域2018

(資料 08-2)



避難所・避難場所は安全区域に指定すること

- 津波や洪水等による浸水想定区域あるいは土砂災害警戒区域等の中に存在するものがあり、居住者等が避難勧告等に従い、当該避難先へ避難した結果、かえって被災した事例が存在する。
- **避難場所は、原則として、その危険が及ぶおそれがないと認められる「安全区域」内に立地することが求められる。**

○安全区域に該当しない区域の例

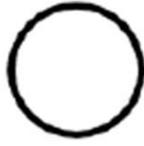
洪水	<ul style="list-style-type: none">・ 水防法の浸水想定区域（同法第14条第1項）
崖崩れ、土石流 および地滑り	<ul style="list-style-type: none">・ 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の土砂災害警戒区域（同法第6条第1項）、土砂災害特別警戒区域（同法第8条第1項）

避難所・避難場所は安全？



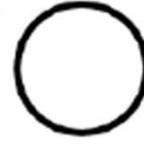
土石流

Debris flow



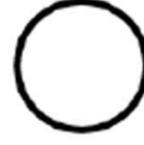
がけ崩れ・地すべり

Steep slope failure, landslide



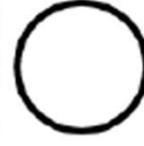
洪水

Flood from rivers



大規模な火事

Fire disasters



高潮/津波

Storm surges/Tsunami



きんぎゅうひなんばしょ

緊急避難場所

Emergency evacuation area

さんぎょうかいかん

産業会館

Industrial hall

標識システムにおける記載例

ハザードマップ

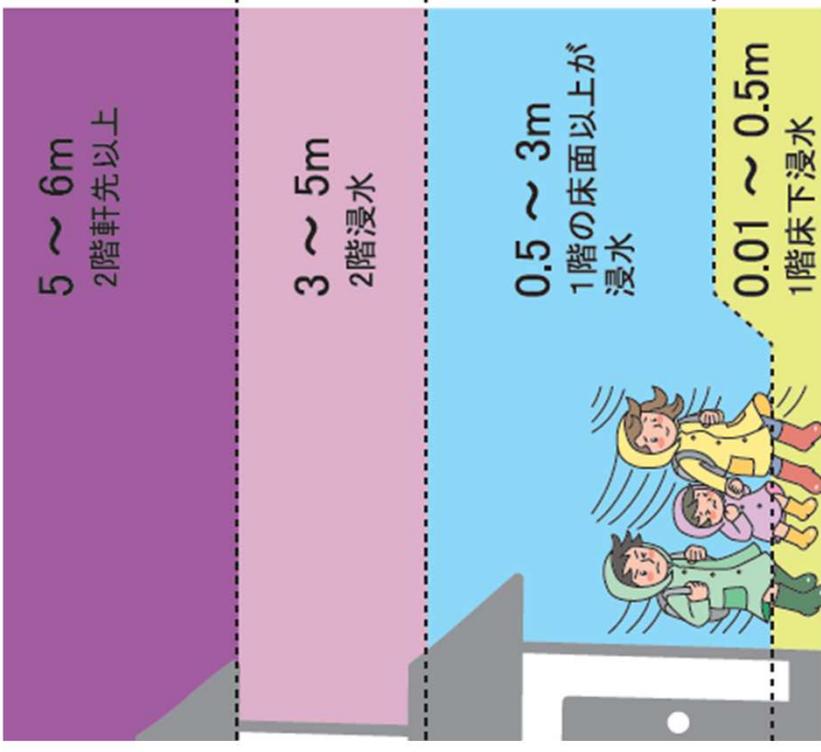
■ 災害時要配慮者利用施設

⚠ 避難時の危険箇所 (常襲冠水管所)

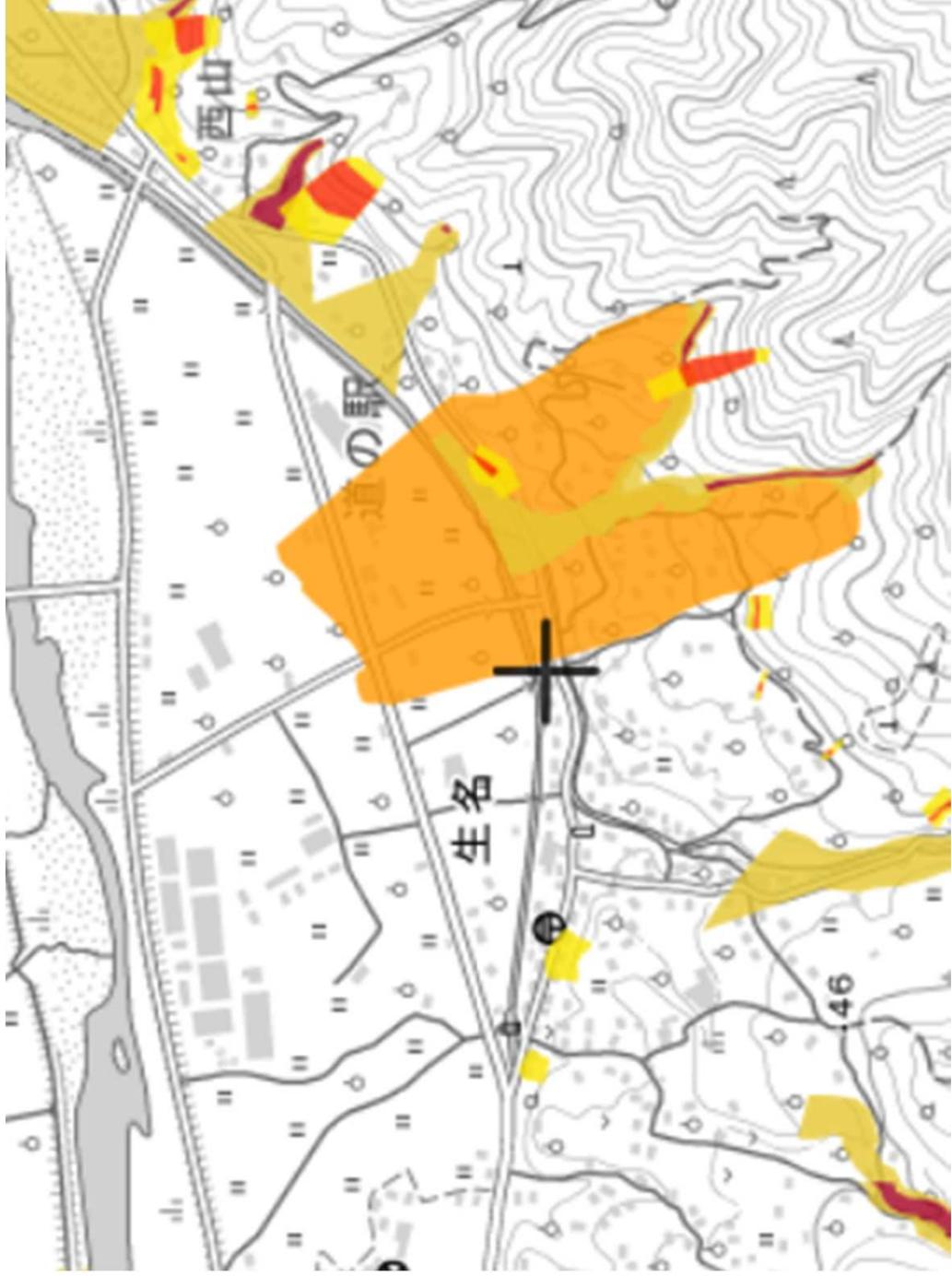
△ 水位観測所 ◎ 雨量観測所

▽ 土石流の恐れがある場所 (平成28年1月時点)

◇ 斜面崩壊の恐れがある場所 (平成28年1月時点)



地すべり警戒区域に指定済み



避難所の暮らしを守るために

冷房あり



2023年7月15日福岡県久留米市

●暑さの中での避難 カムチャツカ半島地震（7月30日）

- 熱中症の疑いで病院に搬送された人は、北海道で9人、岩手県で1人、宮城県で1人、和歌山県で2人、沖縄県で3人のあわせで16人（NHK）
- 宇和島市の幼稚園：いったん園児を近くの高台まで避難させましたが、暑さが厳しく急ぎよエアコンのある別の避難所に移動した。
- 「ここままで暑いときに冷房がない場所での避難がどれほどつらいか自分でも想像してなかった」
- 備蓄セットに冷却パックスを加える
- 全国で避難所に指定されている公立の小中学校の体育館などで冷房の設置率は5月時点で23.7%（文科省）最も高い：東京都で92.6%、最も低い：佐賀県で0.4%
- 徳島県で、11.7%**